われわれは遺族の相互扶助、道義の高揚につとめ、平和日本建設に寄与し、戦争の防止、世界恒久平和の確立を期するを信条とする。

いさお新聞

発行所　〒703-8272
岡山市中区奥市3-22　岡山県遺族連盟
電話代表　086-271-7175
ＦＡＸ　086-271-4815
郵便振替岡山01230-9-3532
発行責任者　岸本清美
編集責任者　豊島始男
印刷所　西尾総合印刷株式会社
定価（郵税共）年額1,200円
ホームページ http://izoku-okayama.jp/

靖國神社
秋季例大祭

超党派議連の国会議員 百九十一人が靖國神社に参拝

安倍総理は真榊を奉納

超党派の国会議員でつくる「みんなで靖國神社に参拝する国会議員の会（会長・尾辻秀久参議院議員／日本遺族会会長）」の衆参両院国会議員百九十一人（本人百十一人、代理八十人）が、秋季例大祭初日の十七日午前、靖國神社に参拝した。

当日は、小里泰弘環境副大臣、赤池誠章文部科学政務官、武藤容治総務政務官、岩井茂樹経済産業政務官ら政府関係者のほか、自民党や民主党、維新の党、次世代の党、生活の党、新党大地など、議連所属の国会議員がそろって参拝し、社に鎮まるご英霊に感謝の誠を捧げた。

靖國神社に昇殿参拝する超党派議連メンバー
（10月17日）

また、衛藤晟一総理補佐官は同日、議連とは別に参拝した。

安倍総理はこれまでの春秋例大祭と同様に「内閣総理大臣・安倍晋三」名で真榊を奉納。伊吹文明衆議院議長、山崎正昭参議院議長、塩崎恭久厚生労働相も同日、真榊を奉納した。

また、翌十八日には高市早苗総務大臣、山谷えり子国家公安委員長、有村治子女性活躍担当大臣ら女性三閣僚がそれぞれ参拝した。

高市総務大臣は参拝後、「国策に殉じた方々に感謝と哀悼の誠を捧げた。そのことは自由と自らの意志に従って行うものだ」と記者団に語った。

尾辻議連会長は参拝後の記者会見で、安倍総理が十一月に中国で行われるＡＰＥＣで日中首脳会談を模索していることへの影響についての質問に、「国会議員が国のために命を捧げていった方々にお参りをするというのはごく自然なことで、どこの国でもしていることだ」と述べた。

超党派議連で十七日に参拝した衆参国会議員は別掲のとおり。

新たな追悼施設建設推進
与党自民党要職議員発言

十月二十日まで執り行われた靖國神社秋季例大祭後の二十二日、自民党の要職にある議員が、閣僚の靖國神社参拝が日中、日韓関係の悪化につながっていることについて、「もっと解決策を考えないといけない」と述べ、所謂Ａ級戦犯の分祀や国立追悼施設など幅広く検討を進めるべきだ」との考えを東京都内の講演で示したことが報道された。

また、議員は「天皇陛下がご存命の内に方向づけする知恵が必要だ。ご遺族もだんだん年をとっている。（日本側も）中国や韓国と手を結んで行こうという努力をしないといけない」とも語ったと云われる。

日本遺族会並びに全国遺族会では、国家とご英霊との約束を破り、遺族の思いを蔑ろにする新たな戦没者追悼施設建設は断固阻止するとしており、安倍政権を支える与党自民党の要職にある議員からの発言は決して看過できない。

この発言は、独立国家の基本であるご英霊の慰霊顕彰に干渉し、度重なる領海侵犯、軍備拡張を続ける中国、所謂従軍慰安婦像の設置など、あらゆる方法で反日政策を続ける韓国への卑屈な迎合としか写らない。更には天皇陛下への言及など、国会議員以前に日本人として決して許されるものではない。

本連盟では、十一月十五日㈯に岡山衛生会館で岡山県戦没者遺族代表者大会の開催をするが、大会宣言・決議案に「靖國神社に代わる国立戦没者追悼施設建設構想を断固阻止」と明記し、ご英霊の慰霊顕彰と反日国家との関係改善を天秤にかけるような不理屈な構想に断固抗議する。

議員本人参拝

靖國神社秋季例大祭期間中の十月十七日、超党派議連で靖國神社に参拝した衆参国会議員は次のとおり。

（党派別・敬称略）

▼衆議院　62人

【自民党】逢沢一郎、青山周平、秋本司、穴見陽一、池田道孝、井上信治、井上貴博、井林辰憲、今村雅弘、岩田和親、大岡敏孝、大西英男、大見正、小里泰弘、鬼木誠、梶山弘志、金子恭之、金田勝年、川田隆、菅野さちこ、木内均、岸信夫、北村誠吾、工藤彰三、小島敏文、後藤田正純、齊藤洋明、坂本剛二、桜井宏、佐々木紀、新谷正義、新藤義孝、瀬戸隆一、高鳥修一、竹本直一、田畑裕明、冨樫博之、とかしきなおみ、長坂康正、中谷真一、中

岡山県戦没者秋季慰霊祭
岡山県護國神社秋季例大祭
十月五・六日、厳粛に執り行われる

恒例の秋季戦没者慰霊行事は、十月五日㈰に岡山県戦没者顕彰会（会長・小田圭一岡山県議会議長）主催による岡山県戦没者秋季慰霊祭が、翌六日には岡山県護國神社の秋季例大祭が執り行われ、境内は連日、参拝者で賑わった。

このたびの慰霊行事は、台風十八号が接近していることから催行が危ぶまれたが、五日夜半に若干の風雨があった程度で、本県には大きな影響はなく幸いであった。

五日の慰霊祭は、岡山県議会議長である小田圭一戦没者顕彰会会長のほか、伊原木隆太県知事、岡山県選出の国会議員や県議会議員等、各界代表多数が参列。祭儀は奥西宮司以下、祭員、県下各遺族会などから推薦された奉仕女により滞りなく執り行われ、参列者は国家危急の大事に殉ぜられたご英霊の冥福をお祈りし、世界平和希求の誓いを新たにした。

また、翌六日には護國神社例大祭が執り行われ、備中神楽、吉備舞の奉納のほか、花道展、慰霊巡拝写真展などが催された。

岡山県遺族連盟では慰霊行事期間中、広島市豪雨災害被災者への義援募金を実施し、参列者の皆様方から金五万四千八百六十五円の温かい浄財が寄せられた。

このたびの慰霊行事にご参列を賜りました各界の方々は次のとおりです。遺族一同、深く感謝申し上げますと共に、引き続いてご英霊の慰霊顕彰と遺族援護にご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

また、両日の慰霊行事実施にあたり、参拝者受付や湯茶接待、境内の交通整理など、早朝よりご奉仕をいただきました皆様方にお礼申し上げます。（順不同／敬称略）

参拝者に挨拶する伊原木県知事

▼岡山県知事
伊原木隆太

▼岡山県議会議長
小田　圭一

▼国会議員
逢沢　一郎（代理）
山下　貴司（代理）
阿部　俊子（代理）
橋本　　岳（代理）
加藤　勝信（代理）
池田　道孝（代理）
石井　正弘
平沼　赳夫（代理）
片山虎之助（代理）
柚木　道義（代理）

▼岡山県議会議員
千田　博通
佐古　信五
岡崎　　豊
河本　　勉
遠藤　康洋
佐藤　真治
小倉　弘行
蓮岡　靖之
波多　洋治
浅野　　實
江本　公一
渡辺　吉幸
上田　勝義

▼岡山県町村会会長
河島　健一（久米南町）

▼市町村長
山崎　親男（鏡野町）

▼市町村議会議長
小椋　晶志（鏡野町）

▼市町村議会議員
松島　重綱（岡山市）
和気　　健（〃）

▼岡山県神社庁副庁長
藤木知之進

▼岡山偕行会会長
鳴海　　榮

議員代理参拝

▼衆議院　52人

【自民党】赤澤亮正、**あべ俊子**、石破茂、今津寛、上杉光弘、江渡聡徳、衛藤征士郎、江藤拓、遠藤利明、大塚高司、奥野信亮、**加藤勝信**、金子一義、神山佐市、亀岡偉民、神田憲次、城内実、木村太郎、佐田玄一郎、左藤章、塩崎恭久、鈴木淳司、高市早苗、竹下亘、田中良生、棚橋泰文、谷川弥一、土屋品子、土屋正忠、東郷哲也、渡海紀三郎、永岡桂子、中谷元、中山泰秀、二階俊博、西村明宏、西村康稔、丹羽秀樹、野田聖子、葉梨康弘、林田彪、福井照、福山守、藤原崇、古川禎久、保利耕輔、町村信孝、松本純、三ツ矢憲生、山口俊一、山本公一、山本拓

【維新の党】上西小百合、松浪健太、重徳和彦

【次世代の党】園田博之

【無所属】伊吹文明

【生活の党】鈴木克昌

▼参議院　18人

【自民党】青木一彦、石井浩郎、井原巧、衛藤晟一、大家敏志、金子原二郎、木村義雄、酒井庸行、島田三郎、関口昌一、滝沢求、豊田俊郎、中西祐介、福岡資麿、三原じゅん子、山谷えり子、山本一太、山本順三

【維新の党】片山虎之助

【民主党】小見山幸治

【次世代の党】アントニオ猪木、中野正志

【民主党】中根康浩

【新党大地】鈴木貴子

▼参議院　28人

【自民党】赤池誠章、**石井正弘**、磯﨑仁彦、岩井茂樹、岩城光英、上野通子、江島潔、**尾辻秀久**、小坂憲次、佐藤信秋、佐藤正久、塚田一郎、拓植芳文、中泉松司、中曽根弘文、中原八一、長峯誠、野村哲郎、羽生田俊、馬場成志、堀井巌、舞立昇治、牧野たかお、松村祥史、松山政司、三木亨、**水落敏栄**、若林健太

【民主党】羽田雄一郎

【みんなの党】和田政宗、藤丸敏、細田健一、堀内詔子、三ツ林裕巳、宮内秀樹、宮澤博行、務台俊介、武藤貴也、武藤容治、森山裕、保岡興治、山田美樹、山本有二、湯川一行、吉川赳、渡辺博通

【維新の党】青柳陽一郎、遠藤敬、河野正美、三木圭恵、村岡敏英

【次世代の党】坂元大輔、桜内文城、杉田水脈、田沼隆志、中丸啓、西田譲、西野弘一、**平沼赳夫**、藤井孝男、松田学、三宅博、山田宏

時局に思う

日本遺族会顧問
参議院文教科学委員長
水落敏栄

組織を継承するために 特別弔慰金の継続は欠かせない

ご遺族の皆様には、お元気でお過ごしのこととと拝察いたします。

政府は戦後七十年の来年、天皇皇后両陛下がパラオ諸島を慰霊訪問されると発表しました。天皇陛下は戦後六十年にはサイパン島を訪問されるなど、先の大戦で犠牲になられた戦没者に対し、常に思いを寄せて下さっており、戦没者遺族として感謝の念に堪えません。

戦後六十九年、戦後生まれが国民の四分の三を占める今日、かつての戦争が人々から忘れ去られようとしています。しかし世界に目を向ければ、いまだ各地で紛争は絶えません。だからこそ私たち遺族が身をもって体験した戦争の悲惨さ、平和の尊さを子々孫々にまで語り継ぐことは社会的使命であります。

しかし、組織を確立し、牽引いただいた戦没者の妻の平均年齢は九十五歳、現在中核を担う遺児の平均年齢も七十三、四歳となり、遺族会組織の継承は喫緊の大きな問題であります。そして尊い遺族会活動を続け、組織を継承するためには特別弔慰金の継続は欠かせません。

全国の受給対象者は百二十五万人、予算要求は五千億円となり、前回にも増して厳しい状況が予想されますが、全国の遺族会の皆様、自民党の遺家族議員協議会の先生方の総力を結集し、必ずや本年暮れの平成二十七年度政府予算編成に、特別弔慰金の継続を計上していただかなければなりません。

私は遺族会の代表として尾辻会長、古賀前会長をはじめ諸先輩方のご指導、ご協力をいただき、特別弔慰金の継続・増額を目指して全力で取り組んで参ります。

また、この度、二回目の参議院文教科学委員長を拝命いたしました。未来を担う子供たちが、たくさんの夢や希望にチャレンジできる社会の実現に向け、一生懸命取り組んで参りますので、皆様には引き続きお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

一昨年は国会対策筆頭副委員長、議員運営委員会筆頭理事と二年にわたり議会運営の為、野党と折衝する役職を賜り、国会を離れられずご無沙汰いたしましたが、これからは全国の皆様にお会いするべくお邪魔させていただきますので、よろしくお願い申し上げます。

亡き父の戦没地で慰霊追悼を
平成26年度遺児巡拝の参加者募集

日本遺族会

日本遺族会が平成三年より厚生労働省の補助を受けて実施している「戦没者遺児による慰霊友好親善事業」は、本年度も全国から多くの遺児の参加を得て、年度前半の事業を終了した。

この後、台湾・バシー海峡、東部ニューギニア（二次）、ビスマーク諸島、ミャンマー・インド、フィリピン（二次）、中国、西部ニューギニア、マーシャル・ギルバート諸島の各慰霊訪問を予定しており、関係地域における遺児の参加者を募集している。

東部ニューギニアではフィンシュハーフェン方面を機上から遥拝するほか、西部ニューギニア、ビスマーク諸島、マーシャル・ギルバート諸島も申込状況を見てチャーター機での機上遥拝を計画することとしている。

事業への応募資格は、実施地域における戦没者の遺児で、過去の参加者も五年（平成二十年度以前の参加者）を過ぎた方は再度申し込みができます。なお、身体障害者等で付添いが必要な方は日本遺族会へご相談下さい。

募集要項は次のとおり。

▼地域及び時期
実施概要表参照

▼参加費　九万円

▼応募資格
実施地域（周辺海域含む）における戦没者の遺児

▼その他
東京都内等に集合し、結団式及び渡航にかかる説明会を行う。また、移動にかかる国内交通費及び帰国時の宿泊代等は個人負担。

▼お申し込み
岡山県遺族連盟まで。
参加申込書を送ります。
（県外在住の方は、在住の各都道府県遺族会事務局へお申し込み下さい）

（広域地域）

実施地域	実施時期 / 主な訪問予定地	募集人員	申込締切
台湾・バシー海峡	平成27年２月５日(木)～２月11日(水)　６泊７日 台北、台中、高雄、墾丁	15人	平成26年12月22日
東部ニューギニア（２次）	平成27年２月７日(土)～２月14日(土)　７泊８日 A班＝マダン、ハンサ、ウエワク B班＝ラエ、フィンシュハーヘン（ガリ、キアリ等機上遥拝）、ウエワク	42人	平成26年12月22日
ミャンマー・インド（２次）	平成27年２月12日(木)～２月21日(土)　９泊10日 A班＝ペグー、トングー、モールメン、サラワジ、ヤンゴン B班＝ミートキーナ、マンダレー、ヤンゴン　C班＝インパール、コヒマ	60人	平成26年12月24日/ミャンマー インド地域は申込を締切
フィリピン（２次）	平成27年３月４日(水)～３月11日(水)　７泊８日 A班＝マニラ及び東方山地　B班＝コレヒドール島、クラーク、マニラ南方 C班＝ルソン島北部（バギオ、クラーク） D班＝ルソン島北部（バレテ峠、ソラノ、キャンガン、オリオン峠） E班＝ネグロス島（バコロド）、ミンダナオ島（ダバオ、タモガン） F班＝セブ島、レイテ島（ブラウエン、リモン峠、カンギポット山方面、ビリアバ、オルモック）	120人	平成27年１月20日
中国（１次）	平成27年３月20日(金)～３月28日(土)　８泊９日 A班＝北京、鄭州、太原　C班＝上海、武漢、岳陽、長沙 B班＝上海、南京、武漢　D班＝広州、桂林、長沙	80人	平成27年２月５日

（特定地域）

西部ニューギニア	平成27年１月19日(月)～１月28日(水)　９泊10日 A班＝ジャヤプラ、ゲニム、ビアク　B班＝ソロン、マノクワリ	36人	平成26年12月７日
ビスマーク諸島	平成27年２月７日(土)～２月14日(土)　７泊８日 A班＝マヌス、カビエン、ラバウル　B班＝ブカ島、ブーゲンビル島（ヌマヌマ）、ラバウル	36人	平成26年12月22日
マーシャル・ギルバート諸島	平成27年３月14日(土)～３月22日(日)　８泊９日 A班＝クエゼリン、マジェロ　B班＝タラワ、マキン	36人	平成26年11月22日

平成27年版「靖國カレンダー」

東京・九段の靖國神社には、わが国の危急存亡に際して、国家国民のために一命を捧げられた二五〇万ものご英霊が祀られています。

「靖國カレンダー」は、尊いご英霊の真心に思いをいたし、私たち国民の一人ひとりが感謝の誠を捧げる輪を広げる国民運動の一環として、昭和五十一年以来刊行しています。本会の運動にご賛同いただき、維持会費を納められた方に「靖國カレンダー」をお送りし、維持会費の一部を靖國神社に奉納します。是非、ご家庭に掲げてご活用下さい。

英霊にこたえる会岡山県本部

【靖國カレンダーの内容】

＊靖國神社と護國神社の季節感溢れる写真、ご英霊にまつわる遺書・逸話等で構成しています。

＊大きさは、縦54・5㎝×横36㎝

【維持会費】一部　四〇〇円（別途送料が必要です）

※一括注文の場合は部数により送料割引があります。

【お申し込み先】

カレンダー送付先の住所、氏名、電話番号、注文部数を左記県本部までご連絡下さい。

〒七〇三－八二七二　岡山市中区奥市三－二一　岡山県護國神社内
「英霊にこたえる会岡山県本部」
電　話　〇八六－二七二－三〇一七
ＦＡＸ　〇八六－二七二－三〇一六

遺言状

陸軍大尉　小松　進

昭和十八年十月十六日
ニューギニアにて戦死
長野県諏訪市出身　三十五歳

一、君ニ召サレテ屍ヲ戦野ニ曝スハ固ヨリ武人ノ本懐ナリ
一、盡忠ノ大義ニ生ク晴天ノ如シ
一、忠誠ノ士ハ純情ノ孝子ナリト祖先ノ遺風ヲ顕彰セン
一、残レル妻ノ使命ハ孝養ト子等ノ教育ナリ
一、昭夫ハ承継ナリ重夫・恭夫ハ大陸ニ勇飛セン
一、久子ニハ良縁ヲ
一、今ニシテ各位の好意ノ大ナルニ比シ恩ニ報ユルナカリシヲ
一、各位ニ宜敷ク
昭和十六年八月

進

妻へ

（原文のまま）

【平成二十六年十月靖國神社社頭掲示】

先般、百歳の長寿を達成されたご遺族に記念品を贈りお祝いをさせていただきましたが、その後、該当ご遺族の報告がありましたので、本紙に掲載しお祝いを申し上げます。

＊岡山市南区山田
坂口　輝子さん（妻）
大正2年12月9日生

＊岡山市北区御津国ケ原
山本美智恵さん（妻）
大正3年11月26日生

遺族会の動き

平成二十六年十月行事表

2日　新見市神郷地区戦没者慰霊祭（県護國神社）
3日　津山市戦没者追悼式（津山総合体育館）
5日　岡山県戦没者秋季慰霊祭（県護國神社）
　　高梁市高梁地区遺族会護國神社参拝（県護國神社）
　　県連盟財政問題特別委員会（県連盟会議室）
6日　岡山県護國神社秋季例大祭（県護國神社）
8日　高梁市川上町遺族会靖國神社団参（東京方面）二泊
　　真庭市北房地区戦没者慰霊祭（県護國神社）
　　岡山県ビルマ会秋季大祭（岡山市・蓮昌寺）
10日　倉敷市戦没者追悼式（倉敷市民会館）
16日　高梁市宇治町戦没者慰霊祭（県護國神社）

16日　千鳥ヶ淵戦没者墓苑秋季慰霊祭（千鳥ヶ淵戦没者墓苑）
17日　靖國神社秋季例大祭（靖國神社）20日まで
20日　新見市哲西地区戦没者慰霊祭（県護國神社）
21日　笠岡市陶山地区戦没者慰霊祭（県護國神社）
　　赤磐市戦没者遺族大会（赤磐市立中央公民館）
22日　英田郡西粟倉村戦没者慰霊祭（県護國神社）
　　真庭市勝山支部戦没者慰霊祭（県護國神社）
23日　笠岡市城見地区戦没者慰霊祭（県護國神社）
　　笠岡市大井地区戦没者慰霊祭（大井公民館）
　　美作市大原支部遺族会護國神社正式参拝（県護國神社）
　　玉野市遺族連合会護國神社参拝（県護國神社）
24日　新見市新見地区戦没者慰霊祭（県護國神社）
　　新見市大佐地区戦没者追悼式（おさ総合C）
　　新見市哲多地区戦没者慰霊祭（哲多総合C）一泊
27日　中国・四国ブロック遺族会会議（島根県）一泊
　　新見市草間地区戦没者慰霊祭（県護國神社）
　　加賀郡吉備中央町下竹地区戦没者慰霊祭（県護國神社）
28日　久米郡美咲町戦没者慰霊祭（県護國神社）
　　美作市湯郷地区遺族会護國神社正式参拝（県護國神社）
29日　笠岡市北川地区遺族会護國神社参拝（県護國神社）
30日　県連盟常任理事会（県連盟会議室）
31日

平成二十六年十一月行事表

3日　津山市高田地区戦没者慰霊祭（高田神社忠魂碑）
4日　笠岡市今井地区戦没者慰霊祭（県護國神社）
5日　真庭市蒜山支部八束地区戦没者慰霊祭（県護國神社）
6日　沖縄戦跡慰霊巡拝／「岡山の塔」戦没者追悼式（沖縄県）二泊
7日　各都道府県遺族会事務局長・職員研修会（秋田県）一泊
10日　鹿児島県護國神社崇敬奉賛会正式参拝（県護國神社）
　　新見市豊永地区戦没者慰霊祭（県護國神社）
12日　瀬戸内市戦没者追悼式（瀬戸内市保健福祉C）
15日　津山市広野地区戦没者慰霊祭（県護國神社）
　　岡山県戦没者遺族代表者大会（岡山衛生会館）
19日　新見市戦没者慰霊祭（県護國神社）
20日　新見市石蟹郷地区戦没者慰霊祭（県護國神社）
　　浅口市金光町遺族会護國神社正式参拝（県護國神社）
25日　笠岡市遺族連合会役員研修会（笠岡市老人福祉C）
26日　真庭市久世支部戦没者慰霊祭（県護國神社）
27日　浅口市郡遺族連合会女性部研修会（鴨方町内）

平成二十六年十二月行事表

3日　県連盟財政問題特別委員会（県連盟会議室）
5日　美作市東粟倉支部遺族会護國神社正式参拝（県護國神社）
16日　全国戦没者遺族大会・国会陳情（東京都内）